

動物愛護推進ボランティアだより

目次

- 1 ごあいさつ
- 2 平成26年度
上半期活動実績
- 3 ボランティアの声
- 4 第2次岩手県動物愛護
推進計画について

ごあいさつ

春寒の候、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

日頃から県が実施する動物愛護管理行政の施策に御協力いただきありがとうございます。

平成26年6月18日に岩手県動物愛護推進ボランティアの委嘱状交付式、研修会を実施し、皆様には、各広域振興局等(各保健所)や関係団体と協力して、様々な活動を実施いただいているところですが、他管内のボランティアの活動状況などを広く知って頂くことなどを目的として、ボランティアだよりを発行することとしました。

平成26年度上半期活動実績

- ・ボランティア人数 48人
- ・活動日数 738件 対象人数 11,591人

～お知らせ【重要】～
平成26年度下半期の活動実績の報告期限は4月20日(月)です。お忘れなく提出をお願いします。

○動物の適正な飼養と愛護の重要性について住民の理解を深めること。

- ★しつけ教室の開催
- ★仮設住宅でのペットの飼い方相談
- ★福祉施設、小学校への動物ふれあい訪問

○みだりに繁殖することを防止するための措置に関する必要な助言をすること。

- ★相談者に対する不妊去勢手術の助言
- ★地域猫活動の紹介
- ★繁殖制限のちらし配布

○譲渡のあっせんその他必要な支援をすること。

- ★保護動物の譲渡
- ★譲渡会の実施

○国、県及び市町村が行う施策に必要な協力をすること。

- ★動物愛護フェスティバルへの参加
- ★動物慰霊祭への参加



同行避難、避難用品・ペット情報カードの作成の重要性について住民の皆さんに説明しました。

【ボランティアの感想】
日頃からの準備の必要性を痛感し、積極的に参加し、楽しく準備することができた。

宮古保健福祉環境センター管内
動物愛護フェスティバル

フラ板をつかった
手作り名札作り



犬と猫の慰霊祭、動物愛護フェスティバルを実施しました。参加者が少なく、事前の告知方法、参加者について、考慮する必要あり。

【ボランティアの感想】

新しい試みであった犬の名札作成デモンストレーションは大変良かったと思う。



一関保健福祉環境センター管内
【写真上】動物愛護フェスティバル
【写真下】犬猫慰霊祭



「愛犬とともに列車の旅を楽しむ」、「愛犬の社会性を育む」、「利用者のマナー向上」を目的に愛犬と一緒に出掛ける「わんご列車」を開催しました。

【ボランティアの感想】

未来を受け継ぐ子どもたちに、画面の中では得ることのできない生物の温かさ察しの心を育む一助になるように、今後活動していくつもりです。



久慈保健福祉環境センター管内
【写真上】わんご列車
【写真下】動物愛護フェスタ(動物塗り絵)

○ 第2次岩手県動物愛護管理推進計画 ○

県では、動物愛護管理を取り巻く状況の変化等への対応を図るため、平成26年3月に「第2次岩手県動物愛護管理推進計画」を策定しました。

計画の基本目標：『人と動物が共生する社会の実現』

- ① 飼い主が命ある動物を適正に飼養し、② 動物の存在が地域の人々により受け入れられ、
- ③ 地域の人々の間に生命尊重や友愛の気風がいきわたっている社会

計画の推進指標として、「動物愛護推進ボランティアの活動日数」が掲げられています。目標の考え方としては、ボランティア一人あたりの年間活動日数20日を目指しております。皆様の御協力をよろしくお願いいたします。